

月刊 星空の散歩道 10月号

2022年

10月上旬 21時ごろ

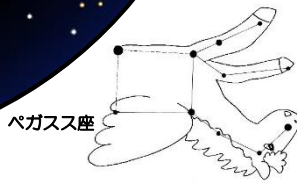
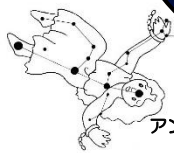
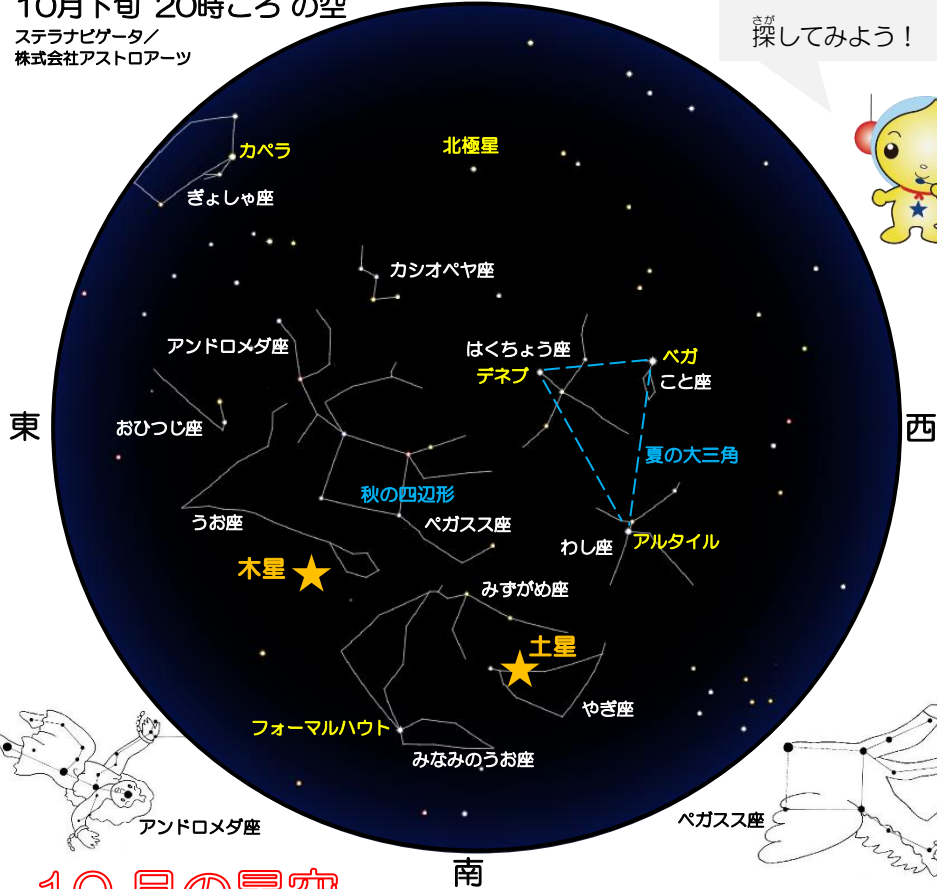
10月下旬 20時ごろの空

ステラナビゲータ/
株式会社アストロアーツ

北

月や惑星・星座を

探してみよう!



10月の星空

☆宵空の主な星座と明るい星☆

夏の星座は西と天頂、秋の星座は南と天頂、冬の星座は東の空に見えています。

- < 西 > こと座 (ベガ)、わし座 (アルタイル)
- < 天頂 > はくちょう座 (デネブ)、ペガサス座、アンドロメダ座
- < 南 > みなみのうお座 (フォーマルハウト)
- < 東 > ぎょしゃ座 (カペラ)
- < 北 > 北極星、カシオペア座

☆天文トピック☆

10月5日 月と土星が並び
日没後、南東の空で月の近くに土星が見えます。

10月8日 後の月
旧暦9月13日の月。「中秋の名月」と共に名月とされ、月を眺める風習があります。

10月8日 月と木星が並び
日没後、東の空で月の近くに明るい木星が見えます。

10月14~15日 月と火星が並び
真夜中の東の空で、月の近くに火星が見えます。

☆月の形の変化☆

- 10月 3日 上弦
- 10月 10日 満月
- 10月 18日 下弦
- 10月 25日 新月

☆10月の惑星☆

- 火星…夜中、東の空
- 木星…日没後、東～南東の空
- 土星…日没後、南東～南の空

<天文コラム> 天王星

1781年、イギリスの天文学者ウィリアム・ハーシェルは、土星よりも遠い新たな惑星を発見しました。天王星と名付けられた新惑星は、肉眼でぎりぎり見える明るさであるため、発見以前から、恒星として記録されていたことが何度かあったようです。

位置がわかれば、市街地でも望遠鏡で見ることができます。恒星は倍率を上げてみてもにしか見えませんが、天王星は青緑っぽい円のように見えます。

天王星には、土星のように望遠鏡で見えるほど明るくはありませんが、環があることも知られています。また、27個の衛星もあります(理科年表2022年版より)。

ところで、11月8日の宵に皆既月食が起こります。その最中の20時31分には、皆既中の月に天王星が隠されるといいたいへん珍しい天文現象が起こります。双眼鏡や望遠鏡で月食を観察すると、そのすぐそばに天王星が見えるので、天王星を見る大チャンスですね。



【天王星と5つの衛星】